

# EGOTERIC

A-100

# 目次

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ございます。




エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。




安全にお使いいただくために	3
お使いになる前に	6
付属品の確認	
使用上の注意	
お手入れ	
設置について	
電源の極性管理について	
スピーカーケーブルについて	7
スピーカー端子について	7
スピーカーとの接続例	8
リアパネル(各部の名称)	10
リモコン(各部の名称)	12
リモコンについて	13
フロントパネル(各部の名称)	14
保護回路について	15
困ったときは	15
仕様/寸法図	16
保証とアフターサービス	17



# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 <b>警告</b> 以下の内容を見無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。	
 電源プラグをコンセントから抜け	<p><b>万一、異常が起きたら</b></p> <p>煙が出たり、変なおいや音がするときは。            機器の内部に異物や水などが入ったときは。            この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。            すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。</p>
 禁止	<p><b>電源コードを傷つけない。</b>            電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。            電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。            コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。</p> <p><b>電源プラグにほこりをためない。</b>            電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。</p> <p><b>交流100ボルト以外の電圧で使用しない。</b>            この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p><b>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。</b>            内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>

# 安全にお使いいただくために

 <b>警告</b>	以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 分解禁止	この機器のカバーは絶対に外さない。 カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。
 強制	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

 <b>注意</b>	以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 強制	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。 また、接続は指定のコードを使用する。
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器は約40kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

**注意**

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。  
湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。  
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。  
火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない。  
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。  
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ディスクの挿入口に手を入れない。  
特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。

電源プラグを  
コンセントから  
抜け

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、  
外部の接続コードを外す。  
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグを  
コンセントから抜く。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。  
感電の原因となることがあります。



愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。  
5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。  
費用についてはお問い合わせください。

# お使いになる前に

## 付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

- 電源コード×1
- リモコン(RC-1156)×1
- リモコン用乾電池(単3)×2本
- フェルト×3枚
- 取扱説明書×1
- ご愛用者カード×1

## 使用上の注意

- 組み合わせて使用するステレオシステムのそばの安定した場所に設置してください。
- 本機の上には物を置かないでください。上に布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かないでください。
- CD、CD-R、カセットテープなど、熱に弱いものを本機の上に置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、他のアンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 極端に温度が低い場所や、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
- 本機には選別された真空管が使用されています。真空管交換時の調整には特別な測定が必要ですので、ご自分では真空管を交換しないでください。

## お手入れ

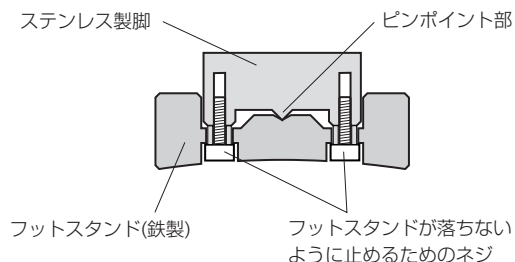
トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

**⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

## 設置について

本機は、高精度のステンレス製ピンポイント脚がシャシーに直結されています。

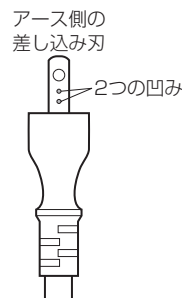
フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



- 本機は大変重いので、設置の際は、けがをしないように十分ご注意ください。

## 電源の極性管理について

本機はより良い音質を得るために、電源の極性管理をしています。アース側の差し込み刃は、穴の下に2つの凹みがあります。



一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。2つの凹みのある差し込み刃をコンセントの長い溝の方に差し込んでください。なお、極性管理されていない電源コンセントに接続するときは、電源プラグを逆に差し込んでみるなどの方法で音質の良い方を選択してください。

# 接 続

## スピーカーケーブルについて

- 接続には、市販のスピーカー専用ケーブルをお使いください。同軸ケーブルや、リッツ線を使用したケーブルは、キャパシタンスが大きく音質に影響を与えるおそれがあります。
- スピーカーケーブルはできるだけ短いものをご用意ください。ケーブルは長くなるほど抵抗値が増加し、ダンピング特性が劣化します。また、インダクタンスやキャパシタンスも増加し、高域の音質が劣化します。
- 左右のスピーカーケーブルは、同じ長さの物を使用してください。

## 接続方法

市販のスピーカーケーブルを使って、本機とスピーカーの+端子同士、-端子同士を接続してください。

- 本機にはWBT社製のスピーカー接続端子を採用しています。スピーカー端子のつまみは、左に回すとゆるみ、右に回すと締まります。
- スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のコードや端子と接触すると、ショートすることがあります。スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。

### ⚠ 接続時の注意

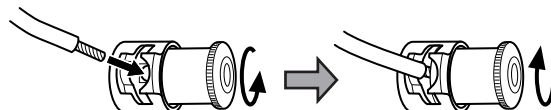
- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

## スピーカー端子について

### より線の場合

つまみをゆるめ、ターミナルの奥の穴に芯線を差し込み、つまみを締めます。

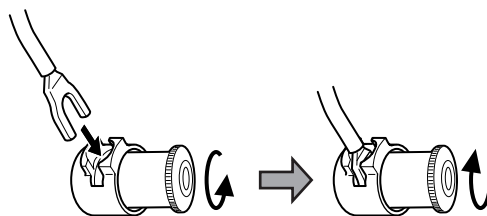
- 差し込める線の太さは、最大で4mmまでです。



### Yラグの場合

つまみをゆるめ、ターミナルの差し込み口に端末を差し込み、つまみを締めます。

- ラグ端子で接続する場合は、内径8mm以上のものをご使用ください。



### バナナプラグの場合

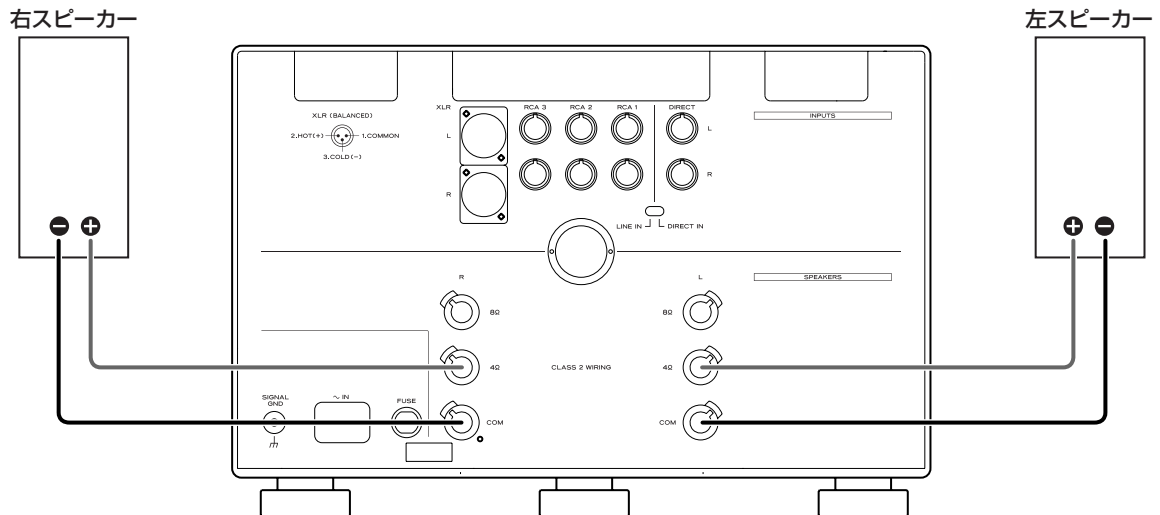
端子正面の差し込み口に端末を差し込みます。

- つまみを締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

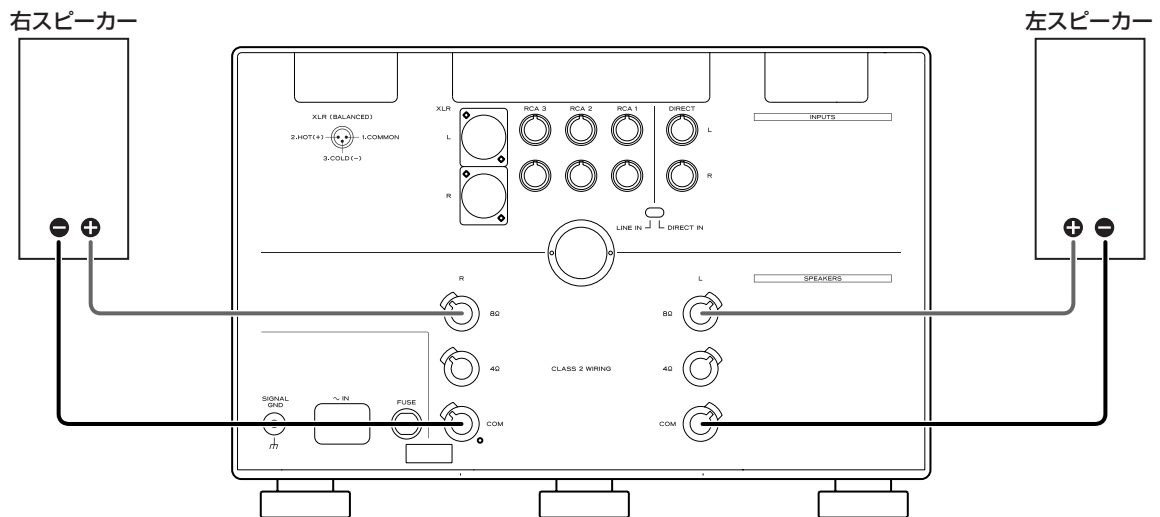


# スピーカーとの接続例

## 4Ωのスピーカーを接続する場合



## 6Ω、8Ω、16Ωのスピーカーを接続する場合

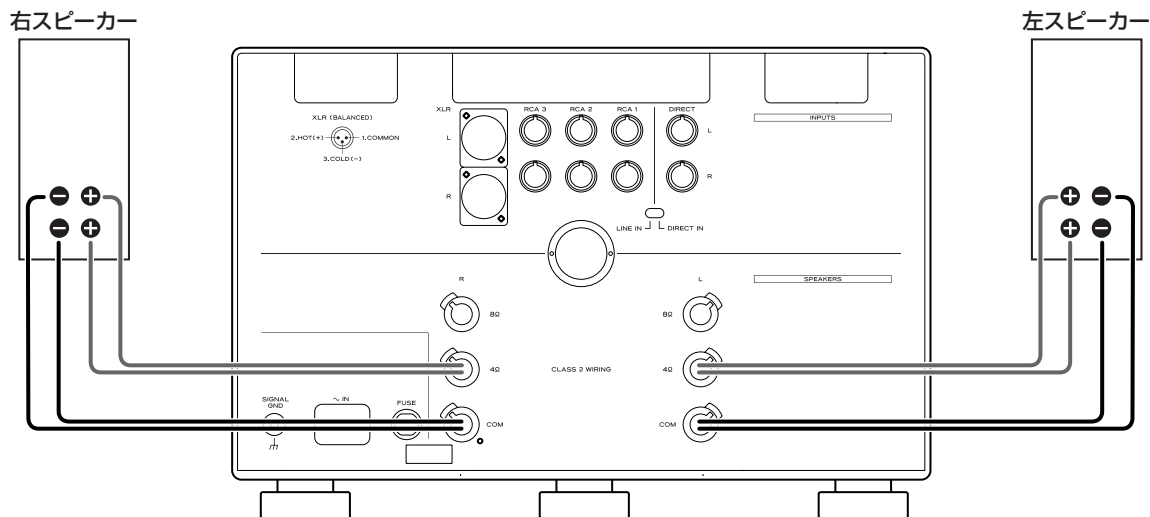


### ⚠ 接続時の注意

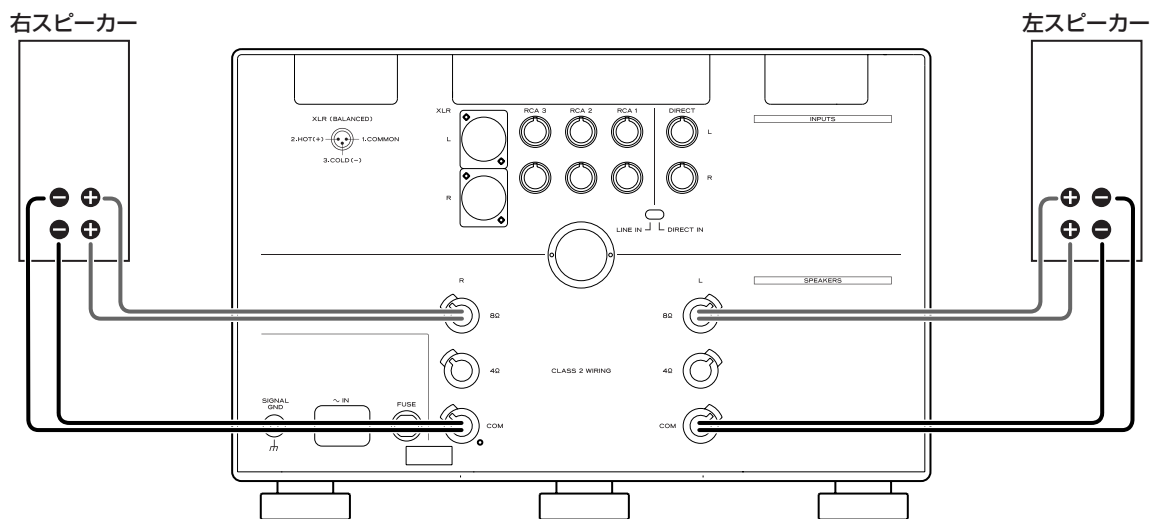
- スピーカーのインピーダンスに合った端子に接続してください。  
4Ωのスピーカーを接続する場合は、スピーカーの+端子と本機の4Ω端子を、6Ω、8Ω、16Ω以上のスピーカーを接続する場合は、スピーカーの+端子と本機の8Ω端子を接続してください。スピーカーの-端子は、本機のCOM端子に接続してください。



## 4Ωのスピーカーをバイワイヤリング接続する場合



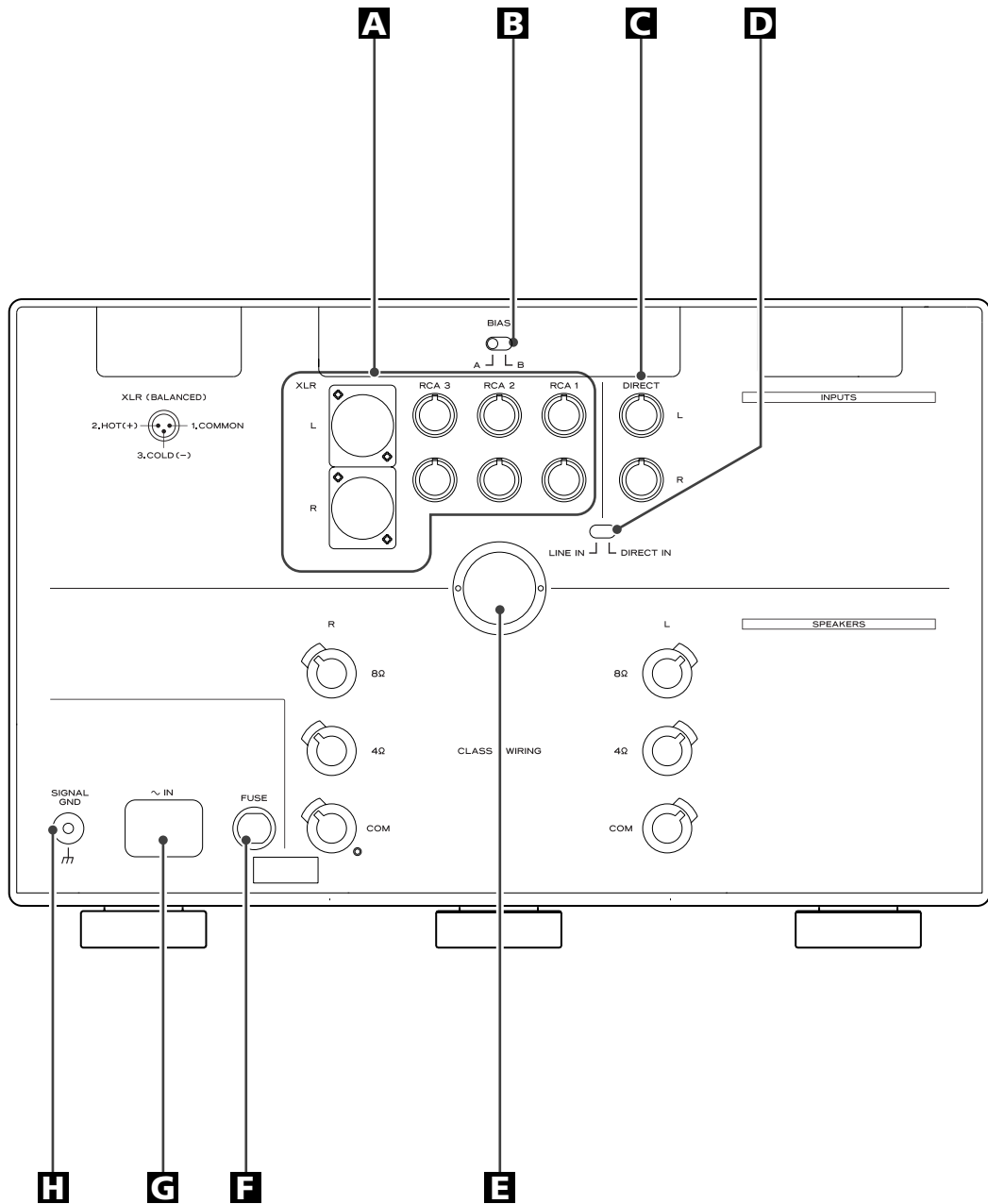
## 6Ω、8Ω、16Ωのスピーカーをバイワイヤリング接続する場合



### ⚠ 接続時の注意

- 本機とスピーカーをバイワイヤリング接続する場合は、4Ω端子と8Ω端子のどちらか一方のみを使用してください。ツイーターと4Ω端子、ウーハーと8Ω端子を接続するなどの接続は絶対にしないでください。

# リアパネル (各部の名称)



## A ライン入力端子

スーパーオーディオCDプレーヤー、DVDプレーヤー、カセットデッキ、チューナーなどの音声出力端子と接続してください。

市販のバランス型XLRケーブルまたはRCAオーディオケーブルを使って、本機のR端子と再生機器のR端子、本機のL端子と再生機器のL端子をそれぞれ接続してください。

ライン入力を使用するときは、ライン入力/ダイレクト入力切替スイッチをLINE IN側に設定してください。入力はフロントパネルの入力切替ボタンで選択し、音量はボリュームコントロールノブで調整してください。この設定のときはリモコンが有効になります。

- XLRバランスプラグはレバーがロックするまで差し込んでください。外すときにはレバーを押さえて抜いてください。
- XLR端子は2番がHOTです。

## B バイアス切替スイッチ

このスイッチで出力真空管KT-88のバイアス電流を選択することができます。

バイアス電流とは無信号時に真空管に流しておく電流のことで、設定値により音質が微妙に変化します。Bが標準設定です。

Aに設定するとバイアス電流が少なめになり、接続するシステムとの相性にもよりますが、音質がやや繊細な方向へ移行し、クラシック向きになる傾向があります。

この切替は組み合わせる機器によっては変化が現れにくい場合があります。その場合はBに設定してください。

## C ダイレクト入力端子

プリアンプをご使用になる場合は、RCAオーディオケーブルを使用してプリアンプの出力端子と接続してください。ダイレクト入力を使用するときはライン入力/ダイレクト入力切替スイッチをDIRECT IN側に設定してください。

この設定のときはリモコンは無効になります。

## D ライン入力/ダイレクト入力切替スイッチ

ライン入力とダイレクト入力を選択するためのスイッチです。

## E ボリュームコントロール モータ カバー

ボリュームコントローラーを駆動するモータのカバーです。操作つまみではありません。

## F ヒューズホルダー

使用するヒューズの定格は250V5Aスローブローです。他のヒューズは使用しないでください。

- ヒューズ交換される場合は電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
- ヒューズが再度飛ばすような場合は、本機の使用を停止し、弊社サービス部門にご連絡ください。

## G 電源インレット

市販の電線でスピーカまたはプリアンプなどとアース接続すると、音質が向上する場合があります。

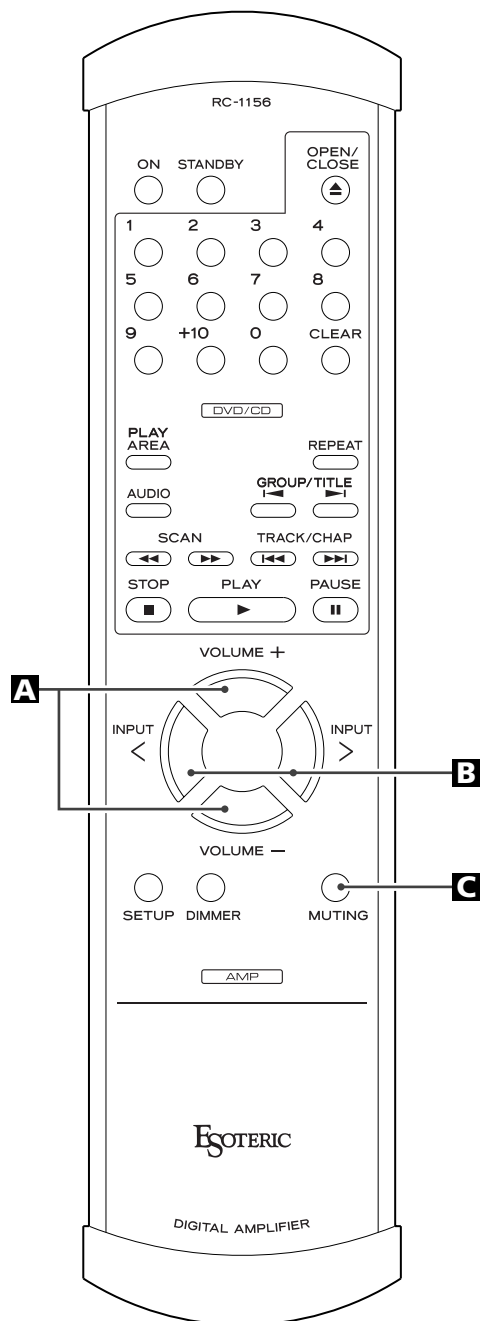
- ⚠ **交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。また、付属の電源コード以外は使わないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。**

## H アース端子

市販の線材でスピーカ又はプリアンプなどとアース接続すると、音質が向上する場合があります。

- 安全アースではありません。

# リモコン (各部の名称)



リモートコントローラーRC-1156は、ESOTERICのデジタルアンプやCD/DVDプレーヤーと共通に使用されます。(P-01/D-01を除く)

本機では音量、入力切替、ミュートの3機能だけが有効です。

リアパネルのライン入力/ダイレクト入力切替スイッチがLINE IN側に設定されている時のみ、リモコンが有効になります。

## **A** 音量 [VOLUME]

音量を調節します。

## **B** 入力切替 [INPUT]

入力を切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。

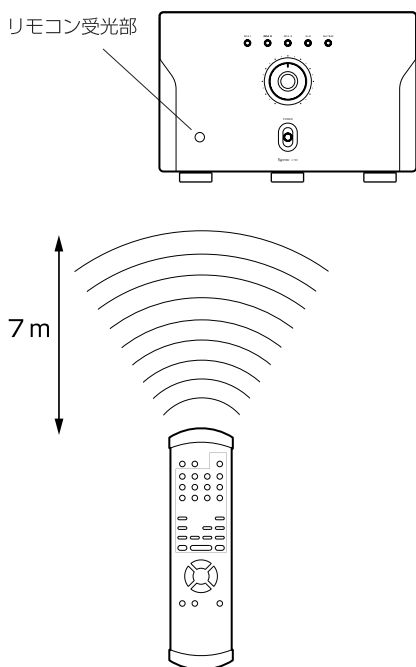
## **C** ミュート [MUTING]

一時的に音を小さくします。

# リモコンについて

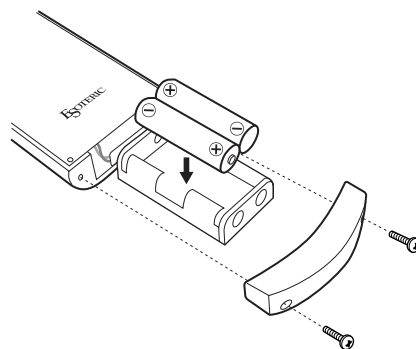
## 使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。また、角度により受信しにくい場合もありますので、できるだけ正面から操作してください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンを使用する場合は、背面のライン入力/ダイレクト入力切換スイッチをLINE INに切り換えてください。



## 電池の入れ方

ドライバーを使ってリモコン下部のフタを外し、電池ケースを引き出してください。⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れたら、電池ケースを戻し、フタを閉めてください。



## 電池の交換時期

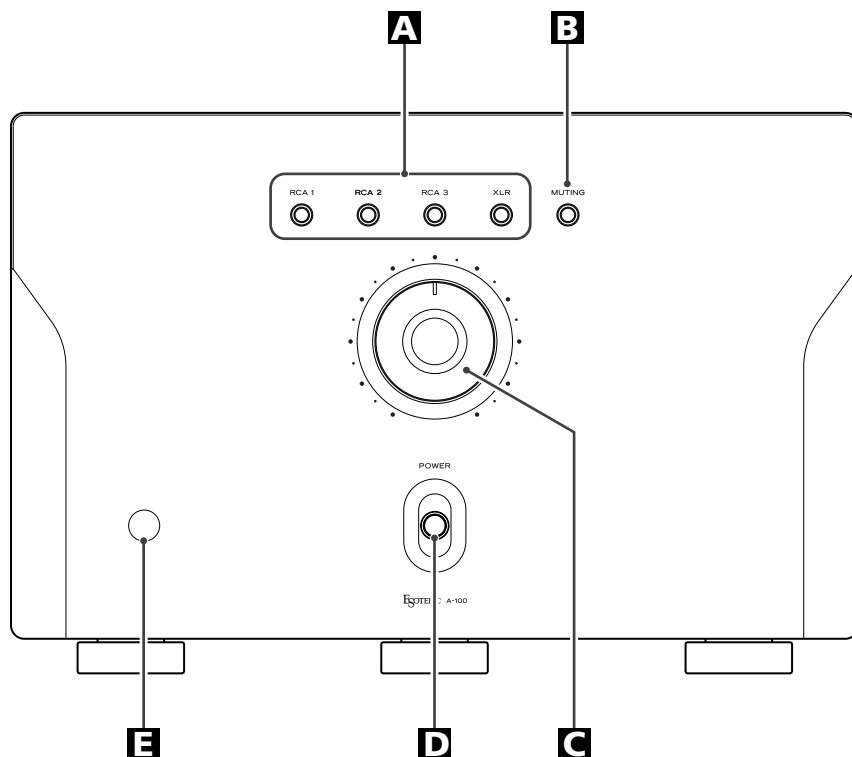
操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

## ⚠ 電池についての注意

電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

# フロントパネル（各部の名称）



リアパネルのライン入力/ダイレクト入力切替スイッチがDIRECT側に設定されているときは、電源スイッチ以外の操作は無効となります。

## **A** 入力選択ボタン

入力を切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選択してください。

## **B** ミュート [MUTING]

一時的に音を小さくします。

## **C** 音量 [VOLUME]

音量を調節します。

## **D** 電源スイッチ [POWER]

電源をオン/オフします。

電源を入れると、電源スイッチの周囲が一旦赤く点灯します。約1分後に青色に変わり音声が出力されるようになります。

保護回路が動作したときも赤く表示が変わります。  
(14ページ)

真空管の保護のため、一旦電源を切ったときは次に電源を入れるまで、5分以上お待ちください。

## **E** リモコン受光部

リモコンを使用する際は、リモコンの先端をこの受光部に向けて操作してください。

## 保護回路について

本機には、出力段の真空管を保護するため、過電流検出による保護回路が内蔵されています。

過電流が検出されると、出力真空管の電流をシャットオフするように保護回路が働きます。  
保護回路の動作は電源を切るまで持続します。

保護回路が働く要因は出力端子に接続されたスピーカーコードのショートが想定されます。  
またスピーカー端子の表示より低いインピーダンスのスピーカーが接続された状態で大きな入力があると、過電流が流れて保護回路が動作する場合があります。

保護回路が動作したときは、出力端子や接続されているスピーカーを調べ、原因を取り除いたのち、5分以上の時間を置いてから電源を入れなおしてください。

原因を取り除いても保護回路の動作が繰り返されるような場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。

保護回路が働いている状態で大きな信号を入力すると、わずかに電流が流れ音声が出力されることがありますが、異常ではありません。出力真空管の保護は持続しています。

## 困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。  
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

### 電源が入らない。

- ➔ 電源プラグを、電流の流れているコンセントに差し込んでください。
- ➔ 電源コードを本機の電源インレットに差し込んでください。

### リモコンで操作できない。

- ➔ 本体の電源をオンにしてください。(14ページ)
- ➔ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。(13ページ)
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から7メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。(13ページ)
- ➔ 背面のライン入力/ダイレクト入力切替スイッチをLINE INに切り換えてください。(10ページ)

### 音が出ない。

- ➔ 本機の電源をオンにしてください。プリアンプやプレーヤー等の電源をオンにしてください。
- ➔ プリアンプやプレーヤー等から信号が出力されているか確認してください。
- ➔ 本機とプリアンプ/スピーカーとの接続、ソース機器とプリアンプとの接続をもう一度確認してください。
- ➔ プリアンプの入力の選択を正しく行ってください。
- ➔ プリアンプの音量を上げてください。
- ➔ 電源スイッチの周囲が青から赤に変化したときは、保護回路が働いています。  
すぐに電源を切り、原因を取り除いてください。
- ➔ スピーカーコードの+と-がショートしている可能性があります。スピーカーコードの接続を確認してください。

### ステレオの定位が不安定。

- ➔ 接続コードの+と-が逆になっているスピーカーがないか確認してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

# 仕様/寸法図

## 電気的特性

最大出力 . . . . . 45W (JEITA, 1kHz, 8Ω/4Ω)  
周波数特性 20Hz~60kHz(1W, 8Ω, +1/-3 dB)  
S/N比 . . . . . 98dB以上(JEITA)  
歪率 . . . . . 0.1%(1W, 1kHz, 8Ω)  
入力感度 . . . . . 400mV/45W (8Ω負荷)  
入カインピーダンス . . . . . 10kΩ (Line in)  
1MΩ (Direct in)

## 使用真空管

初段 . . . . . 12AT7×2  
ドライブ段 . . . . . 12AU7×4  
終段 . . . . . KT88×4

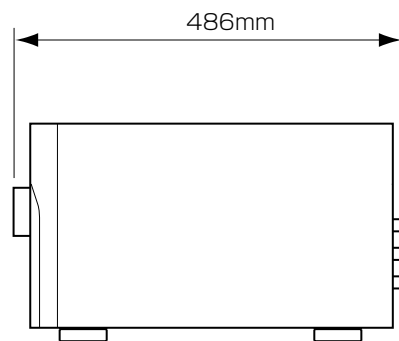
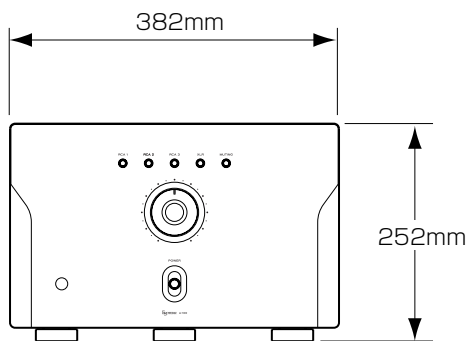
## 一般

電源 . . . . . AC100V 50-60Hz  
消費電力 . . . . . 200W (電気用品安全法)  
寸法(W×H×D) . . . . . 382×252×486(mm)  
質量 . . . . . 約40kg

## 付属品

電源コード×1  
リモコン(RC-1156)×1  
リモコン用乾電池(単3)×2本  
フェルト×3枚  
取扱説明書×1  
ご愛用者カード×1

- 仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。





# 保証とアフターサービス

## ■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

### 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
  - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
  - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
  - メンテナンス
  - 保証書の提示がない場合
  - 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

## ■修理を依頼されるときは

15ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

## 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

## 修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## 修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ステレオ真空管パワーアンプ A-100

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

## ■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

## 分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

## 音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



## 株式会社ティアック エソテリック カンパニー

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.teac.co.jp/av>

### この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、  
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

#### AVお客様相談室



**0570-000-701**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

### 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。  
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

#### ティアック修理センター



**0570-000-501**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話等からはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新家電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新家電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。